

## 弁の漏洩評価

しきり弁の漏洩評価の方法としては、しきり弁前後の流体圧を測定する方法などが行われているが、検査工数が多大であり、より簡易的な検査方法が求められる。しきり弁の弁をしきり、発生する AE の振幅分布を測定した結果を下記に示す。横軸が AE の振幅を、縦軸が AE の発生数を示す。通常、弁が十分に機能して内部流体が弁から漏洩しない場合には AE の発生が認められないが、流体が漏洩した場合には図に示すように振幅の大きな AE の発生が認められる。

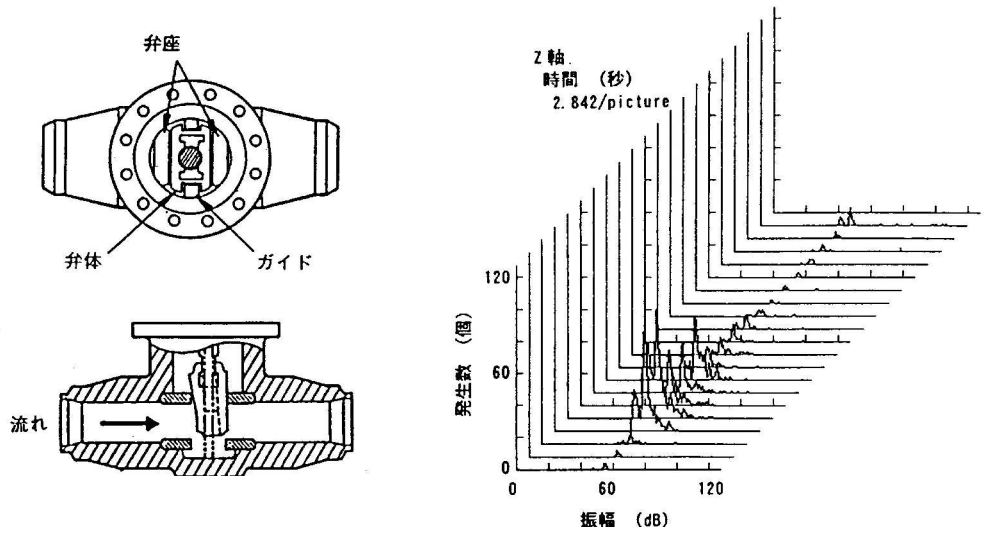


図 30 弁漏洩時の AE 挙動